

(訳文)

2019年10月28日、東京

親愛なる友人の皆様へ

この度、任期を終えて離日するにあたり、皆様には多大なご支援を賜り、限りない信頼をお寄せいただいたことに感謝を申し上げます。任務に邁進した3年間、私たちを結ぶ長年の友情、信頼、連帯をさらに豊かなものとするため、皆様からの計り知れないご支援を得たことは私にとって誠に光栄なことでした。

今年はまさにキューバと日本の外交関係樹立90周年を迎えており、両国関係がさらに前進し、近年大きく多様化していることを私たちは喜びとともに確信しております。多様な分野で双方向の交流が数多く実施されました。重要な協力プロジェクトが展開され、我が国の経済社会発展に大きな効果をもたらしています。文化・スポーツ交流も2020年東京五輪を目前に一層、充実しています。共通の関心課題における政策対話が深化し、より多くの日本人がキューバを旅行先に選んでいます。これらはほんの数例に過ぎません。

滞日中、私は両国を結ぶ相互信頼と敬意を身をもって知りました。私たちが深く称賛する日本国民の長大な歴史、豊潤な文化、賛嘆すべき発展と価値観について、身近で観察することができたのも光栄なことでした。

我が国民は60年以上前から、米国の経済・貿易・金融封鎖に反対する闘い、及び不当に占拠されているグアンタナモ海軍基地の返還を要求する闘いを展開してきました。皆様がこれらの闘いを決然と無条件に支えて下さっていることに、感謝を申し上げます。

在任中、キューバ大使館の活動に対し皆様より貴重なご支援をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。後任大使に対しても、私同様にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

心からのご挨拶を込めて。

キューバ大使
カルロス・M・ペレイラ